

演劇・ダンス事業

『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

演出家・ウォーリー木下氏による新企画が始動！

演劇の新しい潮流を生み出す、7つの劇団による公演を神戸アートビレッジセンターで上演

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターの企画運営にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度、神戸アートビレッジセンター(KAVC)では、「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」を開催する運びとなりました。

当センターでは、2018年4月1日より演出家・ウォーリー木下氏を舞台芸術プログラム・ディレクターに迎え、新しいプログラムを実施しておりました。2018年には、施設全館を会場とした美術・演劇・ダンス・音楽の体感型アートフェスティバル『KAVC アートジャック 2018』、関西／関西外の演劇・パフォーマンスアートに関わるゲスト講師による、ワークショップ&トークシリーズ『Play&Session』を開催いたしました。そして、2019年より、新たな演劇シリーズとして本企画を始動することとなりました。この企画は、関西から新しい演劇や舞台作品が飛び立つことを期待し、気鋭のカンパニーに公演の場を提供することを目的としております。第一弾には、関西を拠点に意欲的な作品を発表している7劇団を選出し、2019年6月から2020年2月の期間に、当センターにて公演を行います。

報道関係者の皆様におかれましては、ご多用中とは存じますが、この機会にご周知および告知にご協力をいただきましたら幸いです。今後とも、本事業へのご支援、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。 敬具

「KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020」

開催期間:2019年6月～2020年2月 (各公演情報など詳しい情報は随時HPにて公開します。)

参加劇団:匿名劇壇、THE ROB CARLTON、KING & HEAVY、コトリ会議、壱劇屋、ももちの世界、プロトテアトル

会場:全て神戸アートビレッジセンター KAVCホール

料金:共通パスポート 7劇団15,000円(4月上旬発売予定)※各公演1回ずつのご鑑賞となります

※そのほか、各公演により料金が異なります。別紙劇団プロフィールをご参照ください。

特設サイト:<https://www.kavc.or.jp/kfc/2019-2020/>(4月上旬開設予定)



上段左より:壱劇屋/匿名劇壇/ THE ROB CARLTON 下段左より:ももちの世界(c) 松田ミネタカ/ KING&HEAVY /コトリ会議/プロトテアトル(c) アラキハルカ (MockMops)

広報に関するお問合せ:神戸アートビレッジセンター (担当 大泉)

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

1/10

演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

開催プログラムの特徴と公演スケジュール

『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』3つの特徴

特徴

①

お得な共通パスを発売!

「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」では、参加7劇団の公演すべてを観劇いただけるお得な共通パスポートを発売します。多くの作品を鑑賞することで、各劇団や作品との出会いをお楽しみいただけます。(ご利用の際は、各公演1回ずつとなります。)

特徴

②

劇評を特設サイトで公開!

「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」では、すべての作品の劇評を行い、特設サイトにて随時掲載していきます。鑑賞だけではなく、その劇団や作品についてより深く学べる機会を提供します。
特設サイト:<https://www.kavc.or.jp/kfc/2019-2020/>

特徴

③

トークやワークショップを開催!

「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」では、参加7劇団の公演に合わせて、外部ゲストによるトークイベントやワークショップを開催します。観るだけではなく、聞く、体験することで、演劇の魅力を広く紹介します。

KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020 公演スケジュール

2019年

- 6月7日(金)～9日(日) 匿名劇壇「大暴力」
 6月28日(金)～30日(日) THE ROB CARLTON「STING OPERATION」
 10月18日(金)～20日(日) KING&HEAVY「ゴールデンエイジ(仮)」
 11月15日(金)～18日(月) コトリ会議「全部あったかいものは(仮)」
 12月6日(金)～8(日) 壱劇屋「未定」

2020年

- 2月6日(木)～9日(日) ももちの世界「ハルカのすべて」※タイトルが変更となりました。
 2月14日(金)～16(日) プロトテアトル「アサ村ショウ一郎(仮)」

※都合により変更となる場合がございます。

演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

開催趣旨

『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』の開催にあたって

ウォーリー木下氏

神戸アートビレッジセンター 舞台芸術プログラム・ディレクター

“関西小劇場”というジャンルがある。時代によってその言葉のイメージは変わり、その代表的な作り手たちも変わってきた(作り手が変わることによってイメージが変わってきたと言った方がいいだろう)。今回、僕がこの『KAVC FLAG COMPANY』を立ち上げるにあたって、まず最初に考えたのは2019年の“関西小劇場”を紹介すること。そして第二に“関西小劇場”という枠組がそもそも必要なのかどうかを検証すること。今回選ばれた7つの団体を見たら、いま関西で“ホットな”演劇が何かは伝わると思う。どこも集団性にこだわってものをつくり、それらはオリジナルであるとはっきり公言できる。もしかしたらまだ尖った部分が多くて少し呑み込みづらいかもしいが、それが刺激にもなっている。なにかやらかしそうな匂いがする。キケンな匂い。そういうものが好きな演劇ファンならきっと満足してもらえるラインナップだ。「おお関西の演劇まだまだ面白いなあ」と言ってもらえると信じている。

一方で、この7団体をひとつの枠組みで紹介してしまっても良いものか非常に悩んでいる。それぞれがまったく別の方向を向いているように見えるからだ。作品の方向性も団体のあり方も、将来への展望も全然違う。それがとても興味深い。昔は(と言っても僕が関西ではりきって演劇をつくってた時期だからまだ10年も経ってないけど)、どことなく“傾向”があったように思う。その中で切磋琢磨や時には斬り合いみたいなものが“関西小劇場”というジャンルの形成に一役買っていた。ところが今の劇団たちにはその“傾向”を感じない。つまり僕には想像もつかない“演劇の面白さ”をきっと見つけているのだと思う。それぞれが勝手に。そこにとても興味がある。

できれば全団体の作品を見てもらいたい。(あ、通しチケットというものをつくりました。ぜひご利用ください)

そして、「演劇の面白さ」をたくさん知ってもらえれば嬉しい。ここからはじまる関西とかそれを越えた演劇の潮流を感じてもらえるのではないだろうか。ぜひ日本全国からも来て欲しいな。そして新開地で遊んで帰って下さい。おいしいお店たくさんあります。

ウォーリー木下氏プロフィール

演出家。神戸大学在学中に劇団☆世界一団を結成。

現在は sunday(劇団☆世界一外部団を改称)の代表で、全ての作品の作・演出を担当。戯曲家・演出家として、公演も数多く手がけ、特に役者の身体性を重視した演出に定評がある。sundayでの活動にとどまらず、映像や音楽を取り入れた言葉を発しない、ノンバーバルパフォーマンス集団 THE ORIGINAL TEMPO のプロデュース・演出を行い、エジンバラ演劇祭にて5つ星を獲得。スロベニアや韓国、ドイツなどと国際共同製作を行うなど、海外からも高い評価を得ている。

11年にPLAY PARK-日本短編舞台フェス、13年に多摩1キロフェスを立ち上げるなど様々な演劇祭でフェスティバルディレクターを務めている。

メディアアートとパフォーマンスの融合で注目を集め、従来の“演劇”という概念を超えた新しい挑戦をし続けている。



演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

参加劇団紹介・公演内容

出演劇団 | 匿名劇壇

「大暴力」作・演出：福谷圭祐

日時：2019年6月7日(金)～9日(日)全6ステージ 予定

会場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

出演：匿名劇壇

チケット料金：3200円(各種割引あり) 予定

チケット発売日：未定

劇団プロフィール：

2011年5月、近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻の学生らで結成。卒業後も継続的に大阪で活動。現在の劇団員は10名。

作風はコメディでもコントでもなく、ジョーク。自分たちの身近にある出来事を、自分たちをモデルにしたキャラクターを登場させながら、自己言及的な台詞を吐かせつつ、客観的でスマートなエンターテインメント作品に仕立て上げる。ポストドラマ的な表現方法を取りながらも、非常に分かりやすい作品になっていることが特徴。疾走感のある演出で、共感のしやすい物語を、メタフィクショナルな多重構造で描く。同世代から強い支持を受けている。と思っている。第六回本公演『悪い癖』(福谷圭祐 作)が第23回OMS戯曲賞にて大賞を受賞。



写真：レモンキャンディ

劇団コメント：

5月で劇団は丸8年を迎えます。現代の若者の視点、価値観をうつし出すような作品づくりに取り組んできましたが、それは単に「現代の若者の当事者」だったからと感じます。若者といえるか怪しくなってきた我々が、今なおなんらかの当事者足り得るのか。少なくとも、30歳に少し足りない今の我々の等身大なんて、なんだかツマラナイ。今回は「暴力」という題材をもとに、たくさんの瞬間を描きたいと思います。ちなみに、体罰はあった世代です。

演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

参加劇団紹介・公演内容

出演劇団 | THE ROB CARLTON

THE ROB CARLTON Banquet hall 「STING OPERATION」 作・演出：村角太洋

日時：2019年6月28日(金)19:30、29日(土)13:00/18:00、30日(日)13:00

会場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

出演：THE ROB CARLTON[村角ダイチ / 満腹満 / ボブ・マーサム]、高阪勝之(男肉 du Soleil/kitt)、伊勢村圭太、他

チケット料金：一般前売 3500 円 / 当日 4000 円、学生前売 2000 円 / 当日 2500 円

チケット発売日：2019年5月11日(土)

劇団プロフィール：

THE ROB CARLTON(ザ・ロブカールトン)は2010年12月、敬愛する「ラグビー」と「ホテル」をコンセプトに誕生しました。

“Funny” “Interesting” “Emotional” “Hospitality” この理念のもと、紳士的な振る舞いと「限りなく喜劇に近い芝居」を日々探求している非秘密集団です。



劇団コメント：

今回の「STING OPERATION」は、2014年に京都で上演した「スティング・オペレーション」のリメイクです。私はこの「スティング・オペレーション」がなかなか記憶に残ってしまって、隙あらばまたどこかでできないものだろうかと思案していました。

いつでもやれるように、できなかったことや、終わってから思いついたこと、なかったことにしたいことを心の付箋にメモしてきました。

私の5年の思いをぜひご覧ください。

captain 村角太洋

演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

参加劇団紹介・公演内容

出演劇団 | KING&HEAVY

「ゴールデンエイジ(仮)」作・演出：KING&HEAVY

日時：2019年10月18日(金)～20日(日)

会場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

出演：飯嶋松之助、伊藤駿九郎、他

チケット料金：前売 2500 円、当日 3000 円

チケット発売日：2019年8月予定

劇団プロフィール：

神戸大学演劇部自由劇場出身の飯嶋松之助・伊藤駿九郎・和田崇太郎による演劇ユニット。

これまでに計3回の本公演を行い、その他ショーケースイベントやコント大会にも多数出演。メンバー個人でもTEAM NACSや劇団Patchに出演するなど舞台を中心に精力的に活動している。ド直球だが遊びの効いた【150km/hのシンカー】のような王道娯楽演劇をモットーに、今回は旗揚げ公演『東京ブラストストーリー』以来のオリジナル長編作品を上演。



劇団コメント：

この度 KING&HEAVY は、約3年ぶりにオリジナル新作を上演します。僕たちは結成当時から、自分たちの好きな事を真面目にふざけながらやり続けてきました。今回もどんな事したら楽しいかな、と考えてワクワクしながら作品を創っていきましょうと思います。

演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

参加劇団紹介・公演内容

出演劇団 | コトリ会議

「全部あったかいものは(仮)」作・演出：山本正典

日時：2019年11月15日(金)～18日(月)

会場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

出演：コトリ会議、野村有志(オパンポン創造社)

チケット料金：一般前売 2700 円、22 歳以下 2000 円、高校生以下 1000 円、遠方割 700 円、当日券 3000 円

チケット発売日：2019年9月14日(土) 予定

劇団プロフィール：

2007年結成。SF やサスペンスなど寓話的な設定を用いることで、現代社会における弱者の問題を隠しつつしみ出る戯曲と、笑えて軽妙で詩情のあるセリフによって、音に集中させる、テンポとボリュームを操る演出を得意とする。シアトリカル應典院演劇祭「spacexdrama2010」優秀劇団を受賞。2016年に地方3劇団協働でおこなった「対ゲキツアー」以降、ツアー公演を主にした本公演、イベント的な小規模公演、演劇祭に参加する際の神出鬼没な小作品など規模によって変幻自在な活動している。作家・山本正典の受賞歴として2018年に第9回せんがわ劇場演劇コンクール 劇作家賞、第25回 OMS 戯曲賞佳作を受賞。



劇団コメント：

劇団員の半分は兵庫県民なので参加できることを喜んでいきます。

「音で楽しむ演劇」「耳を澄まして観る作品」と評されることが多く、2019年2月に行った初めての福岡公演での現代劇でも同様に評価していただけたので、それを踏まえて、自信を持って人と人がつくり出す機微を描いていこうと思います。そして神戸を皮切りに東京公演と、1～2都市のツアーを予定していますので、神戸から始まる作品を全国に伝えていきます。

演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

参加劇団紹介・公演内容

出演劇団 | 壱劇屋

「未定」作：未定 演出：大熊隆太郎

日時：2019年12月6日(金)～8日(日)

会場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

出演：未定

チケット料金：未定

チケット発売日：未定

劇団プロフィール：

大阪と京都の狭間、枚方を拠点に高校演劇全国大会出場メンバーで2008年より活動開始。

数名の演出家や作家がそれぞれに作品を作る全国でも珍しい形で活動している。そのため、なんでも売ってるドンキホーテみたいな劇団になっている。今回の「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」では、主宰の大熊が演出を担当。観客と共に移動しながらの上演や、舞台と客席を交換しての上演など、トリッキーな演劇を得意とし、パントマイムを用いて視覚的にも奇妙な世界を作り出す。近畿圏外からのお客様半額の遠征割や高校生以下無料など、様々な取り組みも行なっている。CoRich舞台芸術アワード!2016、2017全国一位。門真市民文化会館ルミエールホール提携劇団。



劇団コメント：

今回の公演は未だに決めかねている部分も多いですが、一つやりたいのがオールスタンディングの公演をやりたいと思っています。様々なジャンルの公演を分け隔てなくやってきましたが、KAVCの自由がきく空間をそのまま使いたいと考えてます。

様々なジャンルに挑戦してきましたが、演劇を観るというより、どこか一緒に体感するような、観客と同じ場所でフラフラと演じるようなものを考えています。

演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

参加劇団紹介・公演内容

出演劇団 | ももちの世界

「ハルカのすべて」作・演出：ピンク地底人3号

※タイトルが変更となりました。

日時：2020年2月6日（木）～9日（日）予定

会場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

出演：オーディションで選ばれた出演者（2019年開催予定）

チケット料金：未定

チケット発売日：未定

劇団プロフィール：

2015年に、ピンク地底人3号のイマジナリーフレンド、桃地伸弥の作品を上演するための団体として発足。

以降、作・演出のピンク地底人3号がピンク地底人ではできない作品を上演する場として、毎回出演者を選び、かつて納棺師だった経験を生かし、「生きること」と「死ぬこと」をいかにして描くかを模索している。

ももちの世界で上演された作品のうち「黒いらくだ」（第23回日本劇作家協会新人戯曲賞最終候補）、「鎖骨に天使が眠っている」（第24回日本劇作家協会新人戯曲賞）と受賞を続け、今年度の新人戯曲賞の最終選考会では1回目の投票で満票となった。また「わたしのヒーロー」で、昨年末の第6回せんだい短編戯曲賞大賞を単独受賞するなど今最も注目される劇作家である。



(c) 松田ミネタカ

劇団コメント：

本作『ハルカのすべて』で、私は都市の「音」を舞台上に載せたいと思っています。普段、我々は周囲の音を無意識に選別しています。車の音、電車の音、洗濯機の音、鳥の鳴き声等、毎日のように鳴っているはずの音を実は我々は全く聞いていません。今回は、それらの「音」を見逃していると仮定します。見逃された音を拾い上げる事で我々の日常を全く別の形で提示できればと思っています。主人公はハルカです。ハルカは都市を歩きます。そして都市によって奏でられた音がハルカの心象風景を描き出します。ハルカはまた我々の鏡でもあります。都市の音がハルカの身体で反射し、世界（我々）を変えていく、そんな作品をお見せ出来ればと思います。

演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』 参加劇団紹介・公演内容

出演劇団 | プロトテアトル

「アサ村ショウ一郎(仮)」作・演出：FOペレイラ宏一朗

日時：2020年2月14日(金)～16日(日)予定

会場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

出演：FOペレイラ宏一朗、小島翔太、豊島祐貴、他

チケット料金：未定

チケット発売日：未定

劇団プロフィール：

「protothéâtre=試作劇場(あるいは試作演劇)」

2013年6月、主宰FOペレイラ宏一朗を中心に近畿大学に通う同級生で旗揚げ。

扱う作品に決まった形はないが、人生において普遍的であり、誰もが共感できる出来事を扱うことが多い。静かでリアルな会話を主とし、観客の過去の思い出や経験を呼び起こす。「借景」に似た作り方をしている。短編演劇祭「フェスティバル」など、本公演だけでなく独自の企画や、夜間定時制高校を舞台にした作品で学校公演なども行っている

2015年2月、第四回本公演「ノクターン」がウイングカップ5最優秀賞を受賞。



(c) アラキハルカ (MockMops)

劇団コメント：

2014年に上演した「アサ村ショウ一郎」という作品を大幅にリメイクして挑みます。

「他者によって語られる個人」というものにスポットを当て、架空の町を舞台に、曖昧な記憶、認識のズレや、捉えられない人物像から生まれる悲劇を描きます。

プロトテアトルとしては最大人数、最大規模での作品になります。